

藤沢市と慶應義塾大学との連携等協力協定に基づく討論型世論調査・共同記者会見

総合計画の策定をふまえた全国で初めての討論型世論調査  
「藤沢のこれから、1日討論」の実施

1 本企画の目的

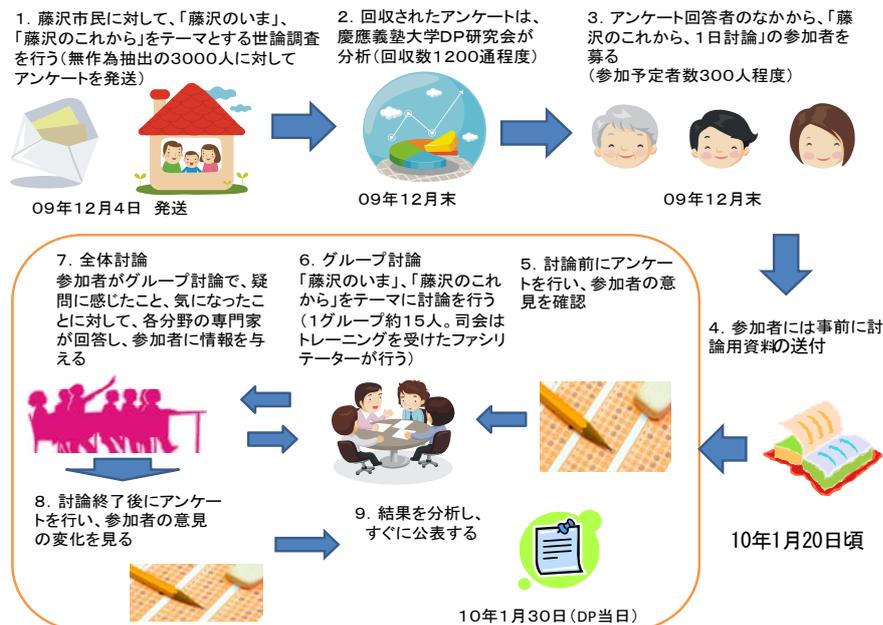
藤沢市では新総合計画の策定に当たり、地域経営戦略100人委員会や「藤沢のこれから、1日討論」など、さまざまな方法で、幅広く藤沢市民の「声」を集めることを目標に掲げています。

「藤沢のこれから、1日討論」は、無作為抽出により、現在の藤沢市民がどのような意見や関心を持っているかを探る世論調査の手法の一種です。無作為抽出により、本市の未来や地域の活動に興味を持っていても、なかなか参加する機会がない市民の皆さんの声を抽出し、新総合計画に反映していくための会議です。

会議の実施に当たっては、昨年10月19日に締結した藤沢市と慶應義塾大学との連携等協力協定に基づき、慶應義塾大学DP研究会（代表 曾根泰教 大学院政策・メディア研究科教授）の協力を得て、討論型世論調査（Deliberative Polling®）という新たな調査手法を用いて、藤沢市民の意見はどちらを向いているかを把握することを目的とします。

2 討論型世論調査（Deliberative Poling®）の基本的な流れ

討論型世論調査に当たっては、無作為抽出した対象者 3,000 人に郵送でアンケートを行い、1,200 名以上の回答を得ています。その中から「藤沢のこれから、1日討論」（1月30日開催）の討論フォーラムへの参加希望者を募ったところ、予想した200名を超え、現時点で約300名の参加予定です。丸1日かけて集中討論を行うことにより、市民の意見や選好などが、討論や専門家からの情報提供を受けて、どのように変化するかを分析し、「藤沢の市民」の意見を探ることを目指します。



### 3 アンケート及び討論について

#### (1) アンケート及び討論の概要

藤沢市民の「藤沢のいま」「藤沢のこれから」に対する意見を中心に調査します。

「藤沢のいま」では、現状をどのように把握しているか、どちらに進むべきと考えているかを調べ、「藤沢のこれから」では、大きな対立する選択肢についてどちらを選択するのかを見出そうというものです。



#### 「藤沢のいま」、「藤沢のこれから」に関する世論調査 (全8問選択式)



##### 【アンケートに記載した質問(抜粋)】

- ①あなたが藤沢で暮らすなかで、便利だと思うこと、不便だと思うことは何ですか。
- ②公共サービスは、これまで通り藤沢市が一律の基準で実施すべきか、あるいは住民に近いそれぞれの地域が地域ごとの基準で実施すべきか、どちらが良いと思いますか。
- ③政策の重点は、これから生まれてくる将来の世代におくべきか、あるいは現代の世代におくべきか、どちらが良いと思いますか。
- ④今後、藤沢市が重点的に投資すべき公共インフラは、公共施設・道路などのハードインフラ(形があるもの)、教育・福祉などのソフトインフラ(形のないもの)のどちらだと思いますか。

#### 「藤沢のこれから、1日討論」



##### 討論テーマ①「藤沢のいま」(現在の藤沢の「強み」と「問題」)

- ・藤沢の「強み」とは何か、それをどうやって伸ばすか
- ・藤沢の「問題」とは何か、それにはいかに対処するか

##### 討論テーマ②「藤沢のこれから」(現在～10年後)をいかにつくっていくべきか

- ・現代の課題(高齢化など)への対策と、将来の課題(環境問題など)への対策のどちらを優先すべきか
- ・藤沢市の政策は、市一律の基準で実施されるべきか、市内の各地域それぞれの基準で実施されるべきか
- ・行政サービスと税金の水準のバランスをどうするか(高福祉・高負担か、低福祉・低負担か)
- ・ハードインフラ(公共施設・道路)とソフトインフラ(社会保障・教育)のどちらに重点的に投資していくべきか

#### (2) 事前アンケート回収状況及び参加予定状況(1月21日現在)

##### ア 事前アンケート

無作為抽出した市民3,000人を対象にアンケート及び討論会参加依頼文を発送

##### イ アンケート回収状況

事前アンケート回収数 1,217 通(回収率 40.6%)

##### ウ 参加予定者の状況

(ア) 参加予定人数 参加者 308 名

(イ) 参加予定者の男女比 男性 156 名、女性 152 名

(ウ) 参加予定者の年齢構成

20歳代:6.7%、30歳代:19.1%、40歳代:22.7%、50歳代:18.9%、60歳代:18.9%、70歳代以上:13.7%

#### 4 1日討論の概要

- (1) 開催日時 2010年(平成22年)1月30日(土) 午前9時20分から午後5時30分
- (2) 会場 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(藤沢市遠藤5322番地)
- (3) 討論 グループ討論と全体討論の2段階形式で行う。
  - ア グループ討論 15人×20班程度での討論
  - イ 全体討論 グループ討論を踏まえての専門家への質問・意見

司会 曾根 泰教 教授(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)  
全体討論専門家(予定)

午前 沼尾 波子 氏(日本大学経済学部教授)  
田中美乃里 氏(特定非営利活動法人 地域魅力理事長)  
菅 孝能 氏(藤沢市景観審議会会長)  
午後 増田 寛也 氏(元総務大臣、元岩手県知事)  
福嶋 浩彦 氏(中央学院大学社会システム研究所教授)  
沼尾 波子 氏(日本大学経済学部教授)

#### (4) 当日のスケジュール

9:00-9:20 受付  
9:20-9:30 市長挨拶  
9:30-9:50 オリエンテーション・討論前アンケートの実施  
10:00-11:30 グループ討論(90分) テーマ「藤沢のいま」  
11:40-12:50 全体討論(70分)  
13:00-13:45 昼食  
13:45-15:15 グループ討論(90分) テーマ「藤沢のこれから」  
15:30-17:00 全体討論(90分)  
17:00-17:30 討論後アンケートの実施等

#### 5 新総合計画への反映

「藤沢のいま」では、現状把握と課題克服の方向と将来伸ばすべき分野についてのスタンスを調査します。

「藤沢のこれから」では、今後、迫られることになりそうな政策の大きな方向性を調査します。

今回の調査結果については、藤沢市新総合計画(基本構想)の策定に当たり参考にします。特に、十分な情報提供を受け、じっくり討論したあとの市民の意見がどこにあるのかを重視します。

事務担当 藤沢市経営企画部経営企画課 0466-50-3502  
慶應義塾大学DP研究会